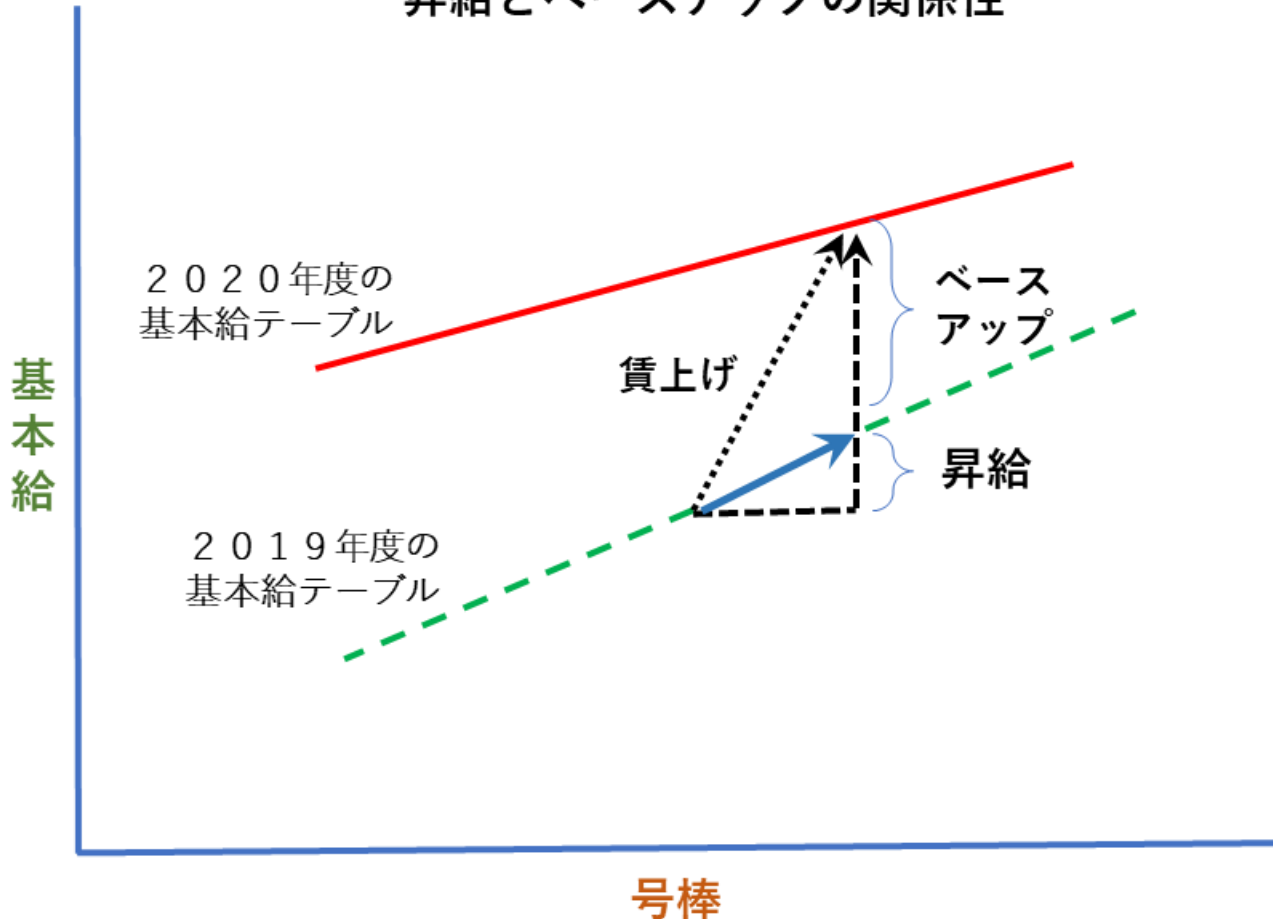


昇給とベースアップの関係性



ベースアップは慎重に行う必要があります。
昇給は個別の評価により、基本給テーブルに従って行われます。
また昇格は、単なる昇給の積み重ねではなく、資質と姿勢を鑑みて行われるべきものです。
ベースアップ時に、テーブルの昇給角度(等級ピッチなど)を変更することも可能です。(年度変わりに、等級制度そのものを変更することも可能です)

人件費抑制の条件

- 1、賞与の基本月数を業績と連動させる
→4か月分の内、1~2ヶ月を基本とする(生活給)
→残りを個人業績と組織業績の分配に充てる
- 2、ベースアップは慎重に
→ベースアップしたものを下げるのは困難
→個人ごとの評価が埋もれないように
- 3、定期昇給を抑制して、個人ごとの評価を重視
→組織・周辺に対する貢献度
→仕事に対する真摯さ